

# 雄神の魅力を決次の世代へ伝えよう！

## 砺波市立雄神公民館

### 公民館の沿革・年表

- ・昭和24年 雄神村公民館を雄神村役場内に設置
- ・昭和28年 庄川町の誕生により町内の4公民館が統合  
庄川町公民館雄神分館を設置
- ・昭和57年 庄川町立雄神公民館として独立
- ・平成17年 旧砺波市と旧庄川町の合併により砺波市立  
雄神公民館と改称
- ・平成18年 「広報雄神」を創刊
- ・平成19年 第1回公民館祭りを開催
- ・平成29年 公民館祭りの前日に前夜祭を設定

### 左図・写真の説明など（PRポイントなども可）

- 青少年育成部会事業「とっぺ行燈製作」の様様  
ふるさと学習に力を入れており、子どもたちが楽しみながら地域の歴史や文化に触れられるような活動を行っている。この行燈は、地域での田祭りや観光祭にて練り回される。
- 公民館まつり「雄神誌写真展」の様様  
昨年3月に、地域の人々で編さんした「雄神誌」が発行された。この本には、歴史や文化を次の世代へ伝えていくという思いが込められている。また、公民館まつりで雄神誌の写真を抜粋し展示することで、史跡や名所を広く知ってもらうことができた。



とっぺ行燈製作



雄神誌写真展

1. 都道府県名	富山県	3. 公民館対象人口	779人	5. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
2. 市区町村名	砺波市	4. 建物設置年月日	昭和57年11月10日	6. 来館者のインターネット接続最大端末数	50台
7. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 ( ○○地区まちづくり協議会 ) <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 雄神公民館 )				
8. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 735人 <input type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 0人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 9500人 ( カフェや子ども塾等の居場所や、地域活動の拠点として )				合計 10,235人
9. 職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 2人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 ( 職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人    職員のうち社会教育士の数 0人 )    合計 2人				
10. 予算	<input type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input checked="" type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 各種補助金 )				
11. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ( )				
12. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> ICTの活用 <input type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
13. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 ( ) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 ( 集会センター内に事務局を構えている。館内には雄神カフェもあり、地区民の憩いの場となっている。 )				
14. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 雄神自治振興会・雄神地区森林振興会・雄神地区体育振興会・雄神楽天塾・雄神高齢者学級・婦人会・健康教室・庄友会・壮友会・青年会・雄神地区母親クラブ・雄神自遊塾・雄神子ども塾				

### 砺波市立雄神公民館

OPEN 8:30~21:00(要事前申込) H P  
 TEL 0763-82-5375 SNS



## 1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

・市内21地区の中でも3番目に人口が少ない雄神地区。高齢化率は42%余りで、市内平均である30%を大きく上回っている。**高齢化、少子化**の波が押し寄せる中で、地域の元気が失われることを防ぐためにはどうしたらよいか。地区住民が過疎化が進む雄神の現状を率直に受け止め、その中で**自分たちのできる活動**を進めている。その中心となっているのが雄神公民館である。

・一方で人口が少ないことのよさも多い。住民一人一人の顔が分かるので**一体感**が強く、行事にはたくさんの地区住民が**主体的**に関わっている。また、**時間も体力もある元気な高齢者**が多く、**地域活動の支え**となっていることも大きなよさである。

## 2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

### 【公民館まつりの前夜祭を実施（既存行事のリノベーション）】

平成29年より、公民館まつり前日に前夜祭を設けている。にぎわい創出のため、当初は昔行っていた「盆踊り」を復活させる案が出たが、準備の負担が大きくなるため否決された。そこで、**公民館まつりの前夜祭を新たな形で行うこと**にした。会場には、飲食や歓談のスペースを設けるなど、老若男女の交流やにぎわい創出の場をつくることで、まつり当日に向けての気分を高める有意義な時間となっている。

### 【公民館まつりでふるさと学習（感染症対策と行事の両立）】

令和2年はコロナ禍により、例年のステージ発表は行わず展示が中心となった。そのことを逆手に取り、「未来につなげよう！ふるさとの歴史と文化」というテーマを掲げた。その目玉が、雄神神社の所蔵する大正・昭和・平成の大祭の様子が記録された合計5巻で長さが85mの絵巻物の展示である。また、同年3月に発行された雄神誌に掲載された史跡・名所の写真展も行い、**地区住民が雄神の歴史や文化に触れる機会**となった。

### 【ふるさと探訪歩こう会（地域への愛着づくり）】

6年目となるこの活動には「**自分たちの地区の魅力**を再認識してほしい」という思いを込めている。日頃見過ごしている自然や史跡をじっくり巡ることで、地域への愛着が深まる。地域の魅力を次の世代へ伝えるには地域を知ることが必要であり、その基盤となる活動である。



雄神神社絵巻展



ふるさと探訪歩こう会

## 3. 取組による成果や効果

### 【公民館まつりでの成果・効果】

・前夜祭は、既存行事の拡張ということで準備の負担は押さえつつも、ビアホールという取組は新鮮さがあり、住民の満足度も高いものとなった。

・令和2年のテーマ展示は、普段見ることのない神社の絵巻物を見る貴重な機会となった。文化財の活用という観点からも、人が多く集まる公民館まつりで展示を行いその存在を知ってもらうことは、意義のある取組である。

### 【これまでの取組全体による成果・効果】

・**行事運営に携わる地区住民の増加** ・**世代間交流の推進** ・**自然体験機会の創出**



しいたけ栽培体験教室

## 4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

・自治振興会・自治会関係者やPTA等各種団体関係者11名で構成する公民館運営審議会を有する。

・総務・文化学習・広報・青少年育成・体育の**5つの専門部会**を地区住民が組織し、それぞれに蓄積されたノウハウを生かして**取組を検証**している。

・砺波市公民館連絡協議会での情報交換や研修会等に参加し、他の公民館活動も参考にしながら取組を行っている。

## 5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

・子どもたちは、公民館の行事に参加した体験やその楽しい雰囲気は簡単には忘れない。子どもたちに「楽しい」とたくさん思ってもらい、**地域のよさや人の温かさ**を伝えていきたい。

・地域づくりのために自分に何ができるのか、自分のこととして考えるところから公民館活動が始まる。「**公民館のメンバーは、地域の皆さん一人一人である**」という考えを大切にしている。



庄川遊覧船

## 6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

少子高齢化を止めることは難しいが、うまく付き合っていくことは可能だと考える。人口が減っている中、一人でも多くの地区住民が地域づくりのために集まることが活力となる。公民館まつり前夜祭のように負担をあまり増やさずできる取組を今後も行い、**人が集まりやすい環境**を整えたい。そして、楽しむことでつながりを深め、**世代を超えて地域の輪を育んでいきたい**。



公民館まつり前夜祭